

# 湖北町小谷保育園

日時：平成21年10月26日(月) 13:00～17:00

平成21年11月 9日(月) 9:00～17:00

場所：東浅井郡湖北町大字丁野2481-1

小谷保育園から住宅地を通り抜け、田んぼに囲まれた道を10分ほど歩いて往来の激しい国道を横断すると、緩やかな登りの山道の先に今回フィールドとなる脇坂陣内屋敷跡の森があります。良く手入れされた杉林の森を活かしたプログラムを作りました。

(対象：年長23名 年中28名 合計51名)

1回目は講座、下見とプログラム作りです。2回目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治(しまっち)さん

参加者の皆さんに、自己紹介を兼ねて、思い出に残っている小さい頃に体験したあそびを聞きました。

神社で石あそびやかくれんぼをした・広場で缶けりや鬼ごっこをした・川に入ってザリガニやメダカ、魚捕りなどをした・山に入って虫取り、木の実や野いちご取り・山や竹藪で秘密基地づくり・稲を刈り取った田んぼであそんだ・わらで家を造ってあそんだ・ままごとあそびや泥団子づくり・冬にはかまくらづくりなど、どのあそびも自然が身近に感じられる存在で自然があそびの場だったようです。

しかし、今の子どもたちはこのように自然を身近に感じるあそびをした経験や思い出はあるのでしょうか。幼児期の頃から自然に親しみ楽しんで遊ぶことにより、より自然を身近に感じ自然を大切に思う気持ちが芽生えます。また自然の中での生き物との出会いが命の大切さにつながるきっかけにもなります。

園での自然体験は大切です。自然を大切に思い、大事にする子どもに育ててほしいです。



1回目の下見  
：葉っぱじゃんけん

1回目の講義風景



2回目森の前で

しまっち：これからこの森の中にはいるけど、どう思いますか？

子どもたち：「暗い!」「きたない!」「地面がぶかぶかそうでこわい!」  
森に入る前は、ほとんどの子どもたちが森は暗くて怖いという印象を持っていました。

## 「森のうんどう会」のプログラム

森の葉っぱなどを集めて、「玉入れ」をします。そのあと、森に住んでいる動物などに变身する「なりきりゲーム」をします。森とみんなが住んでいる生活の場では、手足でふれる感触や感覚、音などに違いがあることに気づくプログラムです。



雨がふってきたぞ!  
地面をとびはねちゃお



大変だ!!  
イノシシがきたぞ!

葉っぱがうまくとばないよ!

クマさんがきた!

うまく变身できたかな?



こっちの葉っぱはうまくはいったよ!

「きーたぞきたぞ」子どもたちの「なーにがきたの」というかけ声で、イノシシがくると「木に抱きつき」、雨が降ると「カエルになって地面をピョンピョン跳びはね」、クマがくると「葉っぱを頭の上ののせて地面になる」变身あそびで、見つからないように森の自然にとけ込んで隠れていました。

## 「はっぱでハッピーを作ろう!!」のプログラム

森の集めた葉っぱで、ポリ袋の衣装に飾り付けをしていきます。そのあと、出来上がったはっぱのハッピーくらべをして、さわってみたり、においをかいだりして、森にはいろんな感触、におい、形があることに気づくプログラムです。



このはっぱつるつるしているよ!

みんなのハッピーのせいぞろい!!

ここにも貼れるかな?



こっちにもくっつけちゃお!

ハッピーのできあがり!



このハッピーどう!



森の中には「つるつる」「ざらざら」「ごつごつ」「ふわふわ」「とげとげ」などの自然のものがたくさんあることがわかりました。

## 「葉っぱであそぼう!」のプログラム

森の葉っぱを集めて山をつくり、その山の中から言われた色の葉っぱをさがします。そのあと、気に入った葉っぱ一枚を台紙に貼ってメダルを作ります。最後に「葉っぱかぶりゲーム」をして、葉っぱの感触や色の違いに気づくプログラムです。

たくさんのはっぱあつめたよ!

はっぱのおやまができたよ!



メダルできたよ!



きれいだね!



キラキラしてきれい!



きれいなはっぱ・色々な形や色の葉っぱの中から、気に入りはっぱを一人一枚ずつ見つけて台紙に貼ってもらう「メダル作り」をしました。子どもたちには「森の大切な宝物」ができて、うれしそうに友だちと見せ合いながら持ち帰りました。

プログラムの実践を終えて各グループから意見があり、ふりかえりの時間に話し合いました。

- ・はっぱの玉入れでロープの円が小さくてゲームがすぐに終了してしまいとまどいました。
- ・つるつる・とげとげなどが子どもたちに理解できたか気がかりでした。
- ・メダル作りで台紙に一枚でなく何枚も貼っている子どもがいたが、良かったのか迷いました。

(しまっちアドバイス)

- ・ゲームの途中でも状況を見ながら変更(玉入れの箱を高くするなど)していくことが必要。
- ・自然にないビニールのハッピーは他のものに変えた方が良く、色は一色のほうが他のチームとの比較がしやすい。
- ・メダル作りで一枚にこだわる意図があれば一枚でも良いと思うが、考えて探す工夫が必要。

「森は暗くて怖い!!」と言っていた子どもたちも、いつもと違った自然の感触や感覚の中で生き生きとゲームあそびを楽しみ、最後には「もっとあそびたい!!」との声ばかりでした。